

2025 年 5 月 30 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 イ ン フ ォ ネ ッ ト  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員 日 下 部 拓 也  
(コード番号：4444 東証グロース)  
問 合 せ 先 広 報 室 平 塚 友 香  
(TEL. 03-5221-7591)

## 2025 年 3 月期決算に関する質疑応答集

当社の 2025 年 3 月期決算に関して、当社で想定しておりました質問および発表以降に株主・投資家などの方々からいただいたお問い合わせ、感想、および当社からの回答をまとめましたので以下の通りお知らせいたします。なお本開示は市場参加者のご理解を一層高めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆修正を行っております。

**Q 1. 人材投資、M&A を進められる中、2026 年 3 月期の売上計画について、伸びが大きくありません。2026 年 3 月期の位置づけ、予算策定の前提について教えてください。**

A 1. 当社は「企業の Web コミュニケーションへ進化をもたらす」というミッションのもと、着実に体制整備を進めております。2026 年 3 月期は、AI サービスの展開強化とアライアンスによる販路拡大を重点施策と位置付け、将来の成長に向けた基盤固めに注力する期間としています。業績予想については、既存事業の延長線上における確度の高い水準で策定しており、確実な達成を優先する姿勢で臨んでおります。

**Q 2. AI 活用について、御社内での活用、及び製品としての展開について、今後の御社成長において期待できるものについて教えてください。**

A 2. AI は当社の中長期的な成長を支える重要分野と位置付けており、2026 年 3 月期より AI 推進室を新設し、全社的に活用を加速しています。製品展開の面では、従来より強化してきた AI 検索「Cogmo」シリーズをベースに、新サービスの開発・提供を進め、顧客企業数の拡大とともにプロダクトの進化を図っております。また、CMS や他の Web サービスとの融合を進め、顧客体験の質を飛躍的に高めてまいります。社内活用の面では、開発・管理・営業など各部門において、生成 AI や自動化ツールを活用することで業務効率化と生産性向上を実現し、利益体質の強化に寄与していきます。

**Q 3. 為替、インフレの影響もあり、原価高騰が収益を抑える状況と推察します。今後、御社のソリューション提供価格を上げていく必要があると思いますが、原価抑制と提供価格上昇、他社との差別化としての御社サービスの付加価値について教えてください。**

A 3. 原価高騰への対応としては、AI 活用による開発効率の向上・業務自動化を通じて、内部コスト構造の最適化を推進しています。また、当社サービスは単体での提供にとどまらず、SNS 運用や分析、AI などを含む複合的な情報発信基盤としての価値を持つことが差別化要因であり、価格転嫁を可能とする競争

力の源泉と考えています。

**Q 4. 今回、株主優待の導入を発表されました。その狙いと今後の株主還元方針について教えてください。**

A 4. 当社は中長期的な企業価値の向上を目指し、グループ拡大、人材採用、製品開発など成長投資を優先しております。一方、当社の株主構成において個人株主様の比率が高いことも踏まえ、株主優待制度を導入いたしました。これにより、個人投資家様との関係強化と株式保有の魅力向上を図るとともに、今後の成長に対する共感と応援を促進してまいります。株主還元と事業成長の両立を重視し、今後も最適な施策を柔軟に講じてまいります。

以 上